



平成 30 年 2 月 14 日
日本下水道事業団

平成 29 年度 B-DASH プロジェクト 「最終沈殿池の処理能力向上技術実証研究」 実証施設の完成式典を開催しました

日本下水道事業団（JS）では、メタウォーター(株)・JS・松本市の3者からなる共同研究体にて、国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）^{※1}において、国土交通省国土技術政策総合研究所の委託研究として、「最終沈殿池の処理能力向上技術実証研究」を実施しています。

本技術は、最終沈殿池（以下「終沈」）に「ろ過部」を設置することにより最終沈殿池からの流出水中の固形物を捕捉する技術であり、増設することなく終沈の処理能力を量的または質的に向上させることが可能となり、人口減少社会を見据えた効率的な設備の更新や安定した水処理への貢献が期待される技術です。

本実証研究は、平成 29 年 7 月に着手し、実証施設の建設工事を実施してまいりましたが、このたび実証施設が完成したことを記念して、平成 30 年 2 月 9 日に松本市両島浄化センターにおいて完成式典を開催しました。

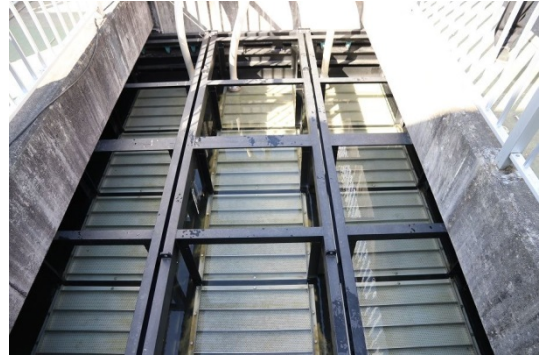
式典では、はじめに菅谷昭 松本市長、辻原俊博 JS 理事長、中村靖 メタウォーター(株)代表取締役社長より主催者挨拶があり、ご来賓を代表して、森岡泰裕 国土交通省 水管理・国土保全局下水道部長、田口輝子 松本市議員よりご祝辞を頂きました。その後、ご来賓ならびに共同研究体の代表者によるテープカットが行われました。

JS では、これまでの B-DASH プロジェクトにおける豊富な経験や、JS 創設以来、長年にわたり積み重ねてきた下水道技術の開発に係る知見を最大限に活かすことにより、本実証研究の所期の成果が得られるよう、取り組んでいく所存です。

※1：下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project）：下水道における新技術について、民間企業、地方公共団体、大学等が連携して行う実規模レベルの実証研究



完成した実証研究施設



完成した実証研究施設（ろ過部）



式典の様子



式典後の施設見学会



司会 水の天使 浦底 里沙さん



松本市 菅谷市長



J S 辻原理事長



国土交通省 森岡下水道部長

＜問い合わせ先＞
 技術戦略部 上席調査役 橋本 敏一
 TEL: 03-6361-7849
 E-mail: Hashimotot@jswa.go.jp